

PROFILE

Y.H さん

留学時の学年

法政大学第二高等学校 2年生

留学先

カナダ Sugarloaf Senior High School

留学期間

2024年9月～2025年6月（約10か月間）

進学先

明治大学

留学先の学校生活はどうでしたか？

授業は難易度別にクラスが分かれており、自分にあった難易度を学校から提案してもらえたので安心しました。一学期は幼児教育という少し難しい授業を取りました。はじめは授業に出てくる単語が全く分からず大変でしたが、その授業に出たことで、二学期からは難易度の高い授業についていけるようになりました。



授業の様子



ボランティア



課外活動は、教会で地域の人に無料の夜ご飯を提供するボランティアをしていました。田舎のため課外活動が多くなく、探すのに苦労したため、出発前にホストファミリーや学校の先生にあらかじめ聞いておくのも一つの手だったと思います。

留学前の目標は達成できましたか？



人種差別についての探求をする！

留学により新たな発見とさらなる課題を見つけられました。カナダは人種のるつぼのため、多国籍国家に残る差別や偏見の課題を痛感しました。

様々な国籍の仲間



ホストファミリー



実際に白人のホストシスターの配偶者が黒人でアフリカからの移民であったため、人種差別や偏見に対する自分の無力さや悔しさをより近くで感じました。自分自身もアジア人であるため、納得がいかない対応をされることもありましたが、現状を知るうえで貴重な経験だったと認識しています。

留学で得たものを どんなふうに活かしていきたいですか？

留学を通して、人種差別のほかに、移民の子どもたちの安全と平等を守る制度が必要と強く感じました。大学進学後は、多国籍国家の移民問題をふまえながら、日本でも考えられる在日外国人に対する課題に焦点をあて、政治学を学びたいと考えています。



子どもたちと一緒に

